

光子 たきや、みんなの荷物を……い、かい、
 たき ~~は~~はい (去南よりあらはれる。シヨーンと掛
 けたる。右の脚が、悪いのをきかひ、こを引いてる。
 光子 たき、何とぬ、ま子、か、嬉々さりのや
 うぢやないのね。 (まこしたしあつるやうに)
 子供たち ^{大正正門}そわくは幅幅やゆいさふ手荷物などを
 提げし、去南から下手にゆがして、^{縣道の方へ}下る。たき
~~は~~最後から痕いしゆく。光子とかがらは
 立つて見送る。馬車の喇叭の音。さよさら、さよ
 さらといふ声。かつらハカチーフを振る。秀作
 庭に下り杖にすわりて、上手格の ~~の~~
^{子供等の}馬車を見送る。 (筑紫山に上り
 のほとり)
 光子 (庭の方へ来て)おやつ。あおた、えんぶと
 こにおいでさんですか。冷えてはいけません
 よ。 (馬車の喇叭の音やゆゆ。)
 秀作 子供たち ~~は~~はまなハンケチを振つて
 る。おろ、もう石橋にかゝつた。またこつち
 の方を見ている。あのやうにハンケチを……
 光子 ^{秀作をよめけり}あなたどう思ひおさいます
 ら、たきのことを……

MARUZEN I

